

ごあいさつ

第 2 回日本緩和医療学会東海北陸支部学術大会

大会長 松原 貴子

三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

このたび、日本緩和医療学会 東海北陸支部第 2 回学術大会を 2019 年 1 2 月 7 日（土）・8 日（日）三重大学医学部総合医学棟におきまして開催させていただくはこびとなりました。開催にあたりご支援をいただいている地区代議員をはじめとする会員のみなさま、協賛企業および関係各位に心より感謝し御礼申し上げます。

テーマを「広げよう、深めよう、緩和ケア」とし、職種・フィールドを超えて集うことにより切れ目のない連携・協働が広がること、さらに、さまざまな視点で緩和ケアを捉え学術的に深めることで、患者や家族の QOL 向上に寄与できる実践につながればと期待しています。

緩和ケアは、がん対策基本法をきっかけに治療早期からの提供の重要性が認識されました。また、緩和ケアの本質である End-of-life care として、がんだけでなく心不全をはじめとする多種多様な治療困難な疾患・高齢者への緩和ケアに焦点があたっています。大変欲張りではありますが、これらのことを踏まえてプログラムを構成しました。一般演題は口演・ポスター発表があり、個々の発表内容がよりよく伝わる方法で発表していただきます。大会企画として、1 日目は、緩和ケア実践にあたって基盤となる正しい知識・技術・実践態度を学ぶ場として基礎セミナー、シンポジウム 1 では、知っておきたい最新の緩和医療のエビデンスを紹介し、臨床実践への活かし方を考えます。2 日目は、パネルディスカッション 1 では、進歩し変化続けるがん医療の現場での緩和ケアの在り方を考えます。続くパネルディスカッション 2 では、エンドオブライフケアに焦点を当て、地域・施設・職種等の異なる視点での取り組みや方法の「工夫」「優れた点」を共有します。シンポジウム 2 では、患者や家族を支える具体的なケアと支援について学びます。それぞれ東海北陸地区で活躍中の方に登壇いただきます。集いの広場では、企業展示の他、企画展示「がん患者の自宅での療養生活を再現する」を計画しました。企業共催セミナーでは、支部内外から高名な講師の方に登壇いただくことになっています。学びの場であるとともに、地元の名物グルメや老舗料亭の味、津発祥のスイーツ（いちご大福）などもお楽しみいただけます。

第 2 回東海北陸支部学術大会組織委員・地元実行委員一同、当日活発なご討議により有意義な時間となることを願って、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。